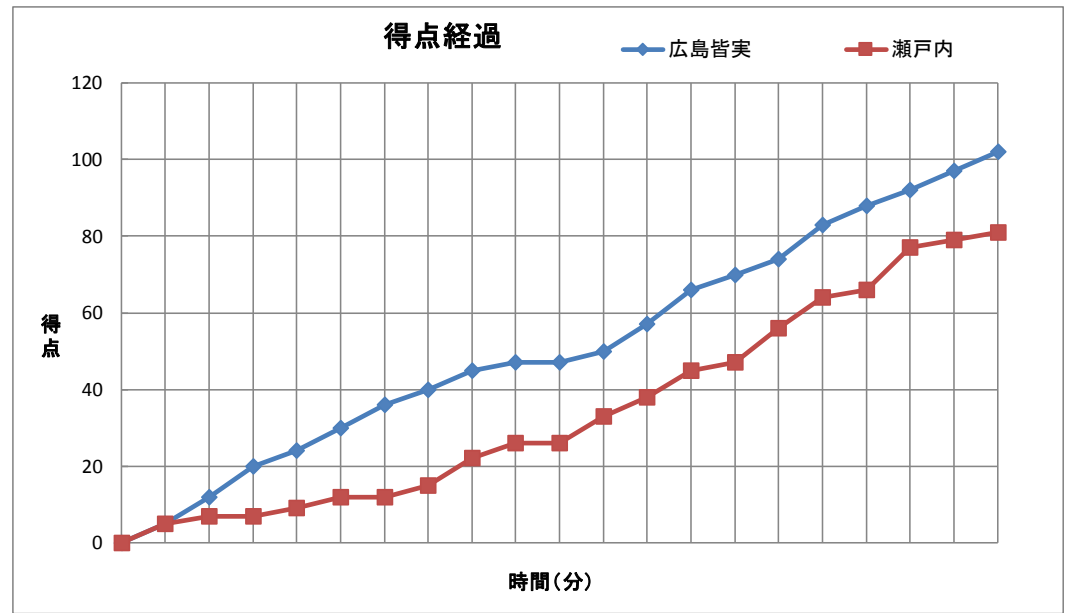




第75回広島県高等学校総合体育大会
バスケットボールの部

個人トータル表

男子		令和4年6月5日 15:00 開始													
決勝		IHIアリーナ呉 0													
◎ 広島皆実 (広島県)	102	<table border="1"> <tr><td>30</td><td>1st</td><td>12</td></tr> <tr><td>17</td><td>2nd</td><td>14</td></tr> <tr><td>27</td><td>3rd</td><td>30</td></tr> <tr><td>28</td><td>4th</td><td>25</td></tr> </table>	30	1st	12	17	2nd	14	27	3rd	30	28	4th	25	81 瀬戸内 (広島県)
30	1st	12													
17	2nd	14													
27	3rd	30													
28	4th	25													
番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏名	得点	3P	2P	FT	反則		
* 4	中水 元基	24	1	9	3	2	0	細谷 知輝	-	-	-	-	-		
* 5	梶谷 崇太	31	5	7	2	0	2	島津 陽希	-	-	-	-	-		
6	中谷 颯良	0	0	0	0	1	3	讃井 大成	3	1	0	0	0		
7	土肥 映斗	-	-	-	-	-	* 7	宮野 叶丞	31	5	6	4	3		
* 8	大福谷 翼	7	0	3	1	3	* 8	末永 渚牙	6	0	2	2	2		
9	野上 岳	-	-	-	-	-	10	下拂 太陽	-	-	-	-	-		
* 10	小田 悠人	11	0	5	1	2	* 11	濱田 典也	17	3	4	0	5		
11	上本 起史	-	-	-	-	-	13	池田 翔	2	0	1	0	3		
12	広瀬 琉星	-	-	-	-	-	15	渡邊 陸月	-	-	-	-	-		
13	齊藤 拓真	4	1	0	1	3	17	白土 柊	-	-	-	-	-		
14	武田 璃玖	-	-	-	-	-	* 22	三上 仁	2	0	1	0	1		
* 15	中村 英司	25	1	9	4	2	42	林 稜也	-	-	-	-	-		
16	平田 貴一	-	-	-	-	-	55	岡本 海人	0	0	0	0	0		
17	石丸 陽生	0	0	0	0	0	* 75	濱田 卓也	20	2	7	0	1		
18	松井 颯之輔	-	-	-	-	-	83	原田 耀大	-	-	-	-	-		
コーチ	藤井 貴康					0	コーチ	川西 英昭					0		
Aコーチ	横田 学						Aコーチ	市川 野乃花							
合計		102	8	33	12	13	合計		81	9	14	6	14		
主審: 市川雄介															
副審: 山住泰光															
副審: 北川 祐大															



CTO	1・2P		3・4P		OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	15:51	:	22:05	34:47	:	:	:	:
TeamB	4:35	11:35	27:40	:	:	:	:	:

〔戦評〕 スタート 広島皆実 4, 5, 8, 10, 15 瀬戸内 7, 8, 11, 22, 45
 1Q お互いマンツーマンDFからスタート。広島皆実が激しいDFからターンオーバーを誘い、速い展開から広島皆実が一步抜け出す。リバウンドでも広島皆実が優位に立ち、ファウルをもぎ取る。瀬戸内残り5分でたまたま1回目のタイムアウト。その後も広島皆実の勢いは止まらず、点差が広がる。瀬戸内はアウトサイドシュートで得点するも、速い展開を止めることができず、広島皆実30-12瀬戸内で1Q終了。
 2Q 広島皆実は固いDFからの速攻、OFリバウンドで得点を重ねる。瀬戸内は前半二度目のタイムアウトを早めにとり、DFを1-2-2から2-3ゾーンに変える。広島皆実の得点が止まったすきに、瀬戸内は7番のバスケットカット、11番の得点などで点差を縮めにかかると。広島皆実も速攻、リバウンドシュートで対抗し、47-26で前半終了。
 3Q 瀬戸内は2-3ゾーンからターンオーバーを誘い、7番のレイアップ、11番の3pで連続得点。一気に点差を縮めたところで、広島皆実がタイムアウト。ここから広島皆実が5番が連続3p、ドライブインなどで流れを引き戻しにかかると。瀬戸内も75番の3p、ジャンプシュートで得点を重ね、一進一退の攻防になる。残り2分で瀬戸内タイムアウト。瀬戸内は引き続き、75番が得点、終了間際に7番が3pを決め、流れを引き寄せて4Qを迎える。
 4Q 瀬戸内はオールコートプレスから75番の得点、7番の連続3pで点差を縮める。広島皆実も5番の3p、4番のフリースローで苦しい時間帯を凌ぐ。両チーム一歩も譲らない展開が続くが、ここで瀬戸内7番の3連続3pが炸裂。点差が16点に縮まったところで広島皆実タイムアウト。瀬戸内はオールコートプレスからのゾーンで速い展開に持ち込む。広島皆実が15番のレイアップ、ゴール下で点差をもう一度広げる。最後まで諦めない瀬戸内もDFの強度を強めるが、点差は縮まらず、終始リバウンドを頑張り続けた広島皆実が全国への切符を手にした。
 敗れはしたが、思い切り良くシュートを打ち続け、素晴らしい試合を展開した瀬戸内に拍手を送りたい。3年ぶりに優勝した広島皆実には、香川県で行われる全国総体でも得意の走るバスケットで上位進出に期待したい。

戦評: 山本風太

記録: